

令和3年度第2回

龍ヶ崎市健康づくり推進協議会

と き：令和3年11月5日（金）
午後1時30分～2時30分
ところ：龍ヶ崎市保健センター

…………… 次 第 ……………

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

- (1) 「龍ヶ崎市第2次健康増進・食育計画」事業評価及び課題について（案）
- (2) 「龍ヶ崎市第3次健康増進・食育計画」骨子（案）の概要について
- (3) 計画策定にむけた今後のスケジュール（案）について
- (4) その他

4 閉 会

指標の性質	記号
上げたほうが良い指標	↑
下げたほうが良い指標	↓
現状維持するほうが良い指標	→

※記号の太さは重点度合を示します。

評価区分	
A	目標値に達した
B	目標値に達していないが改善傾向にある
C	目標達成は難しい(評価が難しい)
D	見直しが必要

基本方針	取り組みの分野	指標	指標の性質	データの対象	ベース値	目標値	評価年度	ベース値(出典)	各年度の実績								
									平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度				
生活習慣病の発症予防と重症化予防	健康管理	乳児家庭全戸訪問	→	4か月未満児	99.4%	98.0%以上	毎年	茨城県母子保健事業実施状況 96.8%(平成27年)	98.3%	A	97.7%	C	96.0%	C	91.3%	C	
		3~4か月児健康診査受診率	↑	6か月未満児	97.4%	98.0%以上	毎年		茨城県母子保健事業実施状況 95.6%(平成27年)	97.0%	C	98.1%	A	97.2%	C	96.4%	C
		1歳6か月児健康診査受診率	↑	2歳未満児	96.7%	98.0%以上	毎年			茨城県母子保健事業実施状況 94.2%(平成27年)	97.5%	B	98.1%	A	97.9%	B	97.9%
		3歳5か月児健康診査受診率	↑	4歳未満児	93.4%	95.0%以上	毎年		国民健康保険連合会		95.6%	A	96.4%	A	93.6%	B	95.8%
		特定健康診査受診率	↑	特定健康診査実施率	30.5%	48.0%	毎年	国民健康保険連合会	28.6%	C	33.3%	B	32.3%	B	24.1%(速報値)	C	
		特定保健指導実施率	↑	特定保健指導実施率	47.6%	60.0%	毎年	国民健康保険連合会	59.6%	B	50.9%	B	61%	A	40.6%(速報値)	C	
	循環器疾患	しょっぱいものを食べ過ぎると血圧が高くなりやすいことについて知っている児童生徒の割合	小学6年生	↑	74.4%	80.0%	平成33年	市民意識調査	—	—	—	—	—	74.9	B		
			中学3年生	↑	87.6%	90.0%	平成33年		—	—	—	—	—	91.9	A		
		カップめんのスープを半分以上飲む児童生徒の割合	小学6年生	↓	66.2%	60.0%	平成33年	市民意識調査	—	—	—	—	—	60.3	B		
			中学3年生	↓	59.9%	55.0%	平成33年		—	—	—	—	—	54.1	A		
		特定健康診査の受診率(再掲)	↑	特定健康診査実施率	30.5%	48.0%	毎年	国民健康保険連合会	28.6%	C	33.3%	B	32.3%	B	24.1%(速報値)	C	
		特定保健指導の実施率(再掲)	↑	特定保健指導実施率	47.6%	60.0%	毎年	国民健康保険連合会	59.6%	B	50.9%	B	61%	A	40.6%(速報値)	C	
	メタボリックシンドローム予備群・該当者の割合	予備群	↓	9.2%	8.5%	毎年	国民健康保険連合会	8.9%	B	8.5%	A	8.8%	B	10.4%	C		
		該当者	↓	13.8%	12.0%			14.9%	C	16.8%	C	16.5%	C	17.9%	C		
	I度高血圧以上(140/90mmHg)の人の割合	↓	特定健康診査受診者	20.4%	18.0%	毎年	国民健康保険連合会	17.8%	A	22.9%	C	23.5%	C	28.4%	C		
	糖尿病	26週頃の妊婦健康診査の血糖値100mg/dl以上の割合(妊娠糖尿病の早期発見)	↓	妊婦	35.6%	33.0%	毎年	市母子保健統計	茨城県母子保健事業実施状況 35.8%(平成27年)	40.2%	C	42.4%	C	45.6%	C	39.9%	C
		特定健康診査の受診率(再掲)	↑	特定健康診査受診率	30.5%	48.0%	毎年	国民健康保険連合会	28.6%	C	33.3%	B	32.3%	B	24.1%(速報値)	C	
		特定保健指導の実施率(再掲)	↑	特定保健指導実施率	47.6%	60.0%	毎年	国民健康保険連合会	59.6%	B	50.9%	B	61%	A	40.6%(速報値)	C	
		糖尿病腎症により新規に透析を導入される人数	↓	新規透析者数	8人	6人	毎年	市社会福祉課調査	12人	C	12人	C	19人	C	8人	B	
		糖尿病有病者の増加の抑制(40-74歳)	↓	特定健康診査受診者	19.4%	18.0%	毎年	国民健康保険連合会	20%	C	19.7%	C	19.3%	B	19.2%	B	

基本方針	取り組みの分野	指標	指標の性質	データの対象	ベース値	目標値	評価年度	ベース値(出典)	各年度の実績											
									平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		令和 2 年度		令和 3 年度			
									実績	評価	実績	評価	実績	評価	実績	評価	実績	評価		
		メタボリックシンドローム予備群・該当者の割合(再掲)	↓	予備群	9.2%	8.5%	毎年	国民健康保険連合会	8.9%	B	8.5%	A	8.8%	B	10.4%	C				
				該当者	13.8%	12.0%			14.9%	C	16.8%	C	16.5%	C	17.9%	C				
がん	胃がん受診率	↑	40～64 歳	男性	13.4%	16.4%	毎年	市がん検診統計	13.6%	B	12.0%	C	9.3%	C	6.3%	C				
				女性	9.2%	12.2%			10.5%	B	9.8%	B	7.6%	C	4.4%	C				
			65～74 歳	男性	15.6%	18.6%			11.9%	C	11.6%	C	9.8%	C	7.2%	C				
				女性	11.1%	14.1%			8.2%	C	7.8%	C	6.3%	C	4.5%	C				
			肺がん受診率	↑	40～64 歳	男性			20.0%	23.0%	毎年	市がん検診統計	20.2%	B	21.4%	B	18.6%	C	11.3%	C
						女性			17.3%	20.3%			17.9%	B	18.2%	B	15.6%	C	10.5%	C
					65～74 歳	男性			34.4%	37.4%			24.0%	C	27.0%	C	24.5%	C	16.7%	C
						女性			33.6%	36.6%			24.6%	C	26.7%	C	25.3%	C	15.1%	C
	大腸がん受診率	↑	40～64 歳	男性	24.0%	27.0%	毎年	市がん検診統計	21.0%	C	19.3%	C	16.7%	C	12.4%	C				
				女性	17.3%	20.3%			20.7%	A	19.4%	B	16.4%	C	11.7%	C				
			65～74 歳	男性	25.4%	28.4%			19.3%	C	19.6%	C	17.4%	C	13.7%	C				
				女性	23.8%	26.8%			19.7%	C	19.2%	C	18.7%	C	12.9%	C				
	乳がん受診率	↑	40～64 歳	32.1%		35.1%	毎年	市がん検診統計	42.0%	A	42.0%	A	37.4%	A	35.9%	A				
			65～74 歳	10.7%		13.7%			10.3%	C	10.3%	C	12.2%	B	6.7%	C				
	子宮頸がん受診率	↑	20 歳代	16.5%		19.5%	毎年	市がん検診統計	13.3%	C	12.3%	C	7.0%	C	9.1%	C				
			30 歳代	32.3%		35.3%			37.9%	A	36.6%	A	26.9%	C	22.7%	C				
			40～64 歳	26.8%		29.8%			36.0%	A	35.4%	A	31.8%	A	32.0%	A				
			65～74 歳	14.1%		17.1%			14.2%	B	12.9%	C	13.6%	C	11.9%	C				
	要精密検査受診率 (平成 28 年度がん検診受診者)	↑	胃がん	85.3%		88.3%	毎年	県がん検診実施状況	89.2%	A	91.7%	A	92.4%	A	84.1%	C				
			肺がん	81.3%		84.3%			87.1%	A	92.6%	A	88.3%	A	93.1%	A				
大腸がん			74.9%		77.9%	78.8%			A	84.5%	A	77.9%	A	84.4%	A					
乳がん			88.5%		91.5%	87.3%			C	88.4%	C	93.3%	A	84.2%	C					
子宮がん			78.2%		81.2%	78.6%			B	97.6%	A	86.2%	A	83.0%	A					

基本方針	取り組みの分野	指標	指標の性質	データの対象	ベース値	目標値	評価年度	ベース値(出典)	各年度の実績									
									平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		令和2年度		令和 3 年度	
		「標準化死亡比」 (悪性新生物)	→	男性	0.98 (2007~2011)	現状維持	毎年	平成 26 年 茨城県市町村別健康指標	0.95	A	0.95	A	0.97	A	0.97	A		
女性	0.98 (2007~2011)			1.03	B				1.01	B	0.99	A	1.00	A				
社会生活を営むために必要な機能の維持・向上	18歳未満の健康	産後アンケート調査で9点以上だった人の割合	↓	乳児家庭全戸訪問対象者	11.0%	10.0%	毎年	市母子保健統計 茨城県母子保健事業実施状況 13.7%(H27 年)	8.5%	A	5.7%	A	6.1%	A	4.5%	A		
		困った時に相談できる人がいない児童生徒の割合	↓	小学6年生	6.6%	4.0%	平成 33 年	市民意識調査	—		—		—		—		6.5%	B
				中学3年生	6.6%	4.0%			—		—		—		6.3%	B		
		最近 1 か月の間に、ストレスやイライラを感じたことがある者の割合	↓	市民意識調査	68.0%	60.0%	平成 33 年	市民意識調査	—		—		—		—		66.0%	B
	自殺者数	↓	自殺者数	9 人	0 人	毎年	市社会福祉課調査	7 人	B	11 人	C	7 人	B	16 人	C			
	高齢者の健康	元気アップ体操指導員の人数	↑	元気アップ体操指導者数	41 人	45 人	毎年	市健康増進課調査	46 人	A	39 人	C	45 人	A	41 人	B		
		シルバーリハビリ体操指導士数	↑	シルバーリハビリ体操指導士数	71 人	80 人	毎年	市高齢福祉課調査	74 人	B	76 人	B	81 人	A	78 人	B		
		傾聴ボランティア数*	↑	傾聴ボランティア数	30 人	40 人	2 年毎	市高齢福祉課調査	36 人	B	35 人	B	37 人	B	34 人	B		
		元気アップ体操延べ参加者数	↑	元気アップ体操参加者数	6,285 人	7,000 人	毎年	市健康増進課調査	6,858 人	B	7,121 人	A	6,292 人	B	3,106 人	D※		
		いきいきヘルス体操(シルバーリハビリ)教室延べ参加者数	↑	いきいきヘルス体操(シルバーリハビリ)教室参加者数	21,596 人	25,000 人	毎年	市高齢福祉課調査	21,982 人	B	19,492 人	C	18,745 人	C	5,841 人	D※		
環境の整備	健康を支えるための社会環境を整	健康づくり支援	↑	食生活改善推進員数	32 人	38 人	毎年	市健康増進課調査	39 人	A	39 人	A	35 人	B	30 人	C		

基本方針	取り組みの分野	指標	指標の性質	データの対象	ベース値	目標値	評価年度	ベース値(出典)	各年度の実績										
									平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		令和2年度		令和 3 年度		
		がん予防推進員数	↑	がん予防推進員数	41 人	50 人	毎年	市健康増進課調査	56 人	A	50 人	A	50 人	A	48 人	B			
生活習慣及び社会環境の改善	栄養・食生活	全出生数中の低体重児の割合(2,500g未満)	↓	出生 2,500g 未満児	10.1%	9.0%	毎年	市母子保健統計	10.2%	C	10.5%	C	8.2%	A	8.1%	A			
		1歳6か月児健康診査のカウプ指数 18.6 以上の割合	↓	1歳6か月児健康診査のカウプ指数 18.6 以上児	4.8%	3.0%	毎年	茨城県母子保健事業実施状況 0.7%(H27 年)	3.0%	A	1.7%	A	3.0%	A	0.9%	A			
		身体測定結果において肥満である児童生徒の割合	↓	児童	7.6% (6年生:9.3%)	6.0% (6年生:7.0%)	毎年	市教育総務課調査	7.5% (6年生:8.6%)	B	7.9% (6年生:10.0%)	C	8.3%	C	11.0%	C			
			↓	生徒	10.4% (3年生:8.4%)	9.0% (3年生:7.0%)			10.2% (3年生:10.6%)	B	10.0% (3年生:8.4%)	B	11.3%	C	13.0%	C			
		20歳～60歳代男性の肥満の割合	↓	20歳～60歳代男性の肥満男性	28.8%	28.0%	平成33年	市民意識調査	—		—		—		—		37.2	C	
		40歳～60歳代女性の肥満の割合	↓	40歳～60歳代女性の肥満の割合	23.0%	19.0%	平成33年	市民意識調査	—		—		—		—		20.7	B	
		20歳代女性のやせの割合(BMI 18.5 未満)	↓	20歳代女性の割合	11.1%	11.0%	平成33年	市民意識調査	—		—		—		—		14.8	C	
		65歳～74歳のBMI≤20の割合	↓	特定健診受診者	17.0%	15.0%以下	平成33年	市集団健康診査	18.7%	C	14.0%	A	18.2	C	16.6%	B			
		主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上している人の割合	↑	市民意識調査	75.8%	81.0%	平成33年	市民意識調査	—		—		—		—		73.4	C	
		乳製品を毎日食べている人の割合	↑	市民意識調査	46.2%	51.0%	平成33年	市民意識調査	—		—		—		—		51.9	A	
		毎日朝食を食べていると答えた児童生徒の割合	↑	児童	95.7%	95.0%以上	毎年	全国学力・学習状況調査	平成 28 年度【速報値】 県:96.0% 国:95.5%	95.6%	A	95.4%	A	94.0%	C	調査なし			
			↑	生徒	94.0%					91.9%	C	92.5%	C	90.4%	C	調査なし			
		朝食を欠食する人の割合(20歳代)	↑	男性	24.2%	20%	平成33年	市民意識調査	食育推進基本計画第3次 平成 27 年度現状値 24.7% 平成 32 年度目標値 15%以下	—		—		—		—		41.7	C
				女性	29.6%	25%				—		—		—		—		39.3	C
		朝食を欠食する人の割合(30歳代)	↑	男性	42.9%	40%	平成33年	市民意識調査	食育推進基本計画第3次 平成 27 年度現状値 24.7% 平成 32 年度目標値 15%以下	—		—		—		—		25.0	A
女性	18.8%			15%	—					—		—		—		17.8	B		
26週頃の妊婦健康診査のヘモグロビン 11g/dl 未満の割合(貧血の早期発見)	↓	妊婦	39.6%	35.0%	毎年	市母子保健統計	茨城県母子保健事業実施状況 42.4% (平成 27 年)	39.8%	C	40.2%	C	41.9%	C	34.4%	A				

基本方針	取り組みの分野	指標	指標の性質	データの対象	ベース値	目標値	評価年度	ベース値(出典)		各年度の実績										
										平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		令和 2 年度		令和 3 年度		
		26 週頃の妊婦健康診査の血糖値 100mg/dl以上の割合(妊娠糖尿病の早期発見)	↓	妊婦	35.6%	33.0%	毎年	市母子保健統計	茨城県母子保健事業実施状況 35.8%(平成 27 年)	40.2%	C	42.4%	C	45.6%	C	39.9%	C			
		離乳食教室(5~6か月)の参加率	↑	生後 5~6 か月児保護者	35.9%	40.9%	毎年	市母子保健統計		37.5%	B	35.0%	C	38.2%	B	29.2%	D※			
		野菜などを植付け(栽培)・収穫・調理の体験型食育を行った保育園・幼稚園・認定こども園数	↑	市民意識調査	14 施設	18 施設	毎年	市こども課調査		18 施設	A	18 施設	A	18 施設	A	13 施設	C			
		児童生徒 1 人当たりの給食食べ残し量	↓	児童	36.9g	35.0g	毎年	市教育総務課調査		26.2g	A	21.8g	A	30.5g	A	26.6g	A			
			↓	生徒	42.6g	40.0g				41.5g	B	40.8g	B	43.5g	C	36.6g	A			
		学校給食での塩分摂取量	↓	小学校	2.7g	2.5g	毎年	市給食センター調査	学校給食実施基準 小学校:2.5g 中学校:3.0g		2.8g	C	2.7g	B	2.4g	A	2.1g	A		
			↓	中学校	3.4g	3.0g					3.1g	B	3.1g	B	2.9g	A	2.9g	A		
		「地産地消」を知っていると回答した割合	↑	小学6年生	61.9%	66.5%	平成 33 年	市民意識調査		—		—		—		—		78.7	-	
			↑	中学3年生	72.7%	76.5%				—		—		—		—		91.6	-	
		学校給食における地場産品を使用する割合	↑	—	47.0%	50.0%	毎年	市給食センター調査	茨城県食育推進計画第3次 現状値平成 26 年:44.5% 目標値平成 32 年:50.0%	50.0%	A	74.3%	A	69.8%	A	55.3%	A			
		身体活動・運動	学校の授業以外にスポーツや趣味などで 60 分以上体を動かす(週2回以上)割合	↑	小学6年生	67.5%	70.0%以上	平成 33 年	市民意識調査		—		—		—		—		60.2	C
				↑	中学3年生	54.0%	60.0%以上				—		—		—		—		56.1	B
			体カテスト結果において県平均を上回った種目数	↑	児童	1種目	2種目	毎年	独自集計		4 種目	A	0種目	C	0 種目	C	実施なし			
				↑	生徒	2種目	4種目				2 種目	B	1種目	C	0 種目	C	実施なし			
体カテストで総合評価AまたはBの児童生徒の割合	↑		児童	男	46.49%	60.0%以上	毎年	市教育総務課調査	いばらき教育プラン 現状値:平成 26 年 55.6% 目標値:平成 32 年 60.0%		47.8%	B	49.4%	B	44.0%	C	実施なし			
				女	49.16%	60.0%以上					49.8%	B	54.7%	B	51.2%	B	実施なし			
	↑		生徒	男	49.36%	60.0%以上					46.7%	C	49.5%	B	43.7%	C	実施なし			
				女	69.06%	60.0%以上					68.0%	A	74.8%	A	71.9%	A	実施なし			
日常生活における歩数の増加 (7,000 歩以上)	↑		20~64 歳	男性	43.5%	10 ポイント増	平成 33 年	市民意識調査		—		—		—		—		35.8	C	
				女性	30.0%					—		—		—		28.8	C			
	↑		65 歳以上	男性	34.4%					—		—		—		30.9	C			
				女性	32.4%					—		—		—		26.8	C			
運動習慣者の割合の増加 (1回 30 分以上の運動を週2日以上, 1年以上継続している者)	↑		20~64 歳	男性	23.6%	10 ポイント増	平成 33 年	市民意識調査		—		—		—		—		21.3	C	
				女性	12.7%					—		—		—		18.1	B			
	↑	65 歳以上	男性	42.9%					—		—		—		41.5	C				
			女性	33.5%					—		—		—		34.5	B				

基本方針	取り組みの分野	指標	指標の性質	データの対象	ベース値	目標値	評価年度	ベース値(出典)	各年度の実績										
									平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度						
		スポーツイベント(市民スポーツフェスティバル等)の延べ参加者数	↑	—	7,378人	8,800人	毎年	市スポーツ推進課調査	6,844人	C	8,285人	B	8,756人	B	2,297人	D※			
		スポーツ教室*の延べ利用者数(指定管理者)	↑	—	42,613人	51,000人	毎年	市スポーツ推進課調査	56,959人	A	47,895人	B	42,541人	C	27,456人	D※			
		総合型地域スポーツクラブ*会員数	↑	—	436人	800人	毎年	市スポーツ推進課調査	429人	C	423人	C	456人	B	400人	C			
		スポーツクラブ等に加入している市民の割合	↑	—	18.5%	20%	平成33年	市スポーツ推進課調査	—		—		—		—				
		ニュースポーツ教室*・大会の延べ参加者数	↑	—	1,035人	1,200人	毎年	市スポーツ推進課調査	898人	C	1,137人	B	1,339人	A	34人	D※			
		いきいきヘルス体操(シルバーリハビリ)教室延べ参加者数	↑	—	21,596人	25,000人	毎年	市高齢福祉課調査	21,982人	B	19,492人	C	18,745人	C	5,841人	D※			
		元気アップ体操延べ参加者数	↑	—	6,285人	7,000人	毎年	市健康増進課調査	6,858人	B	7,121人	A	6,292人	B	3,106人	D※			
		てくてくロードを歩いた延べ人数	↑↑	—	1,528人	2,300人	毎年	市健康増進課調査	1,911人	B	1,176人	C	974人	C	1,063人	C			
		妊娠中に飲酒している人の割合	↓	3~4か月児健診時保護者	1.9%	0%	毎年	健やか親子21アンケート	1.0%	B	0.4%	B	0%	A	0.8%	B			
	飲酒	飲酒の害を知っている人の割合	↑	急性アルコール中毒について	小学6年生	83.0%	85.0%	平成33年	市民意識調査	—		—		—		79.8	C		
↑			中学3年生		95.3%	95.0%	—				—		—		97.3	A			
↑			アルコール依存症について	小学6年生	76.5%	80.0%	平成33年	市民意識調査	—		—		—		—		83.5	A	
↑				中学3年生	94.1%	95.0%			—		—		—		97.8	A			
↑			生活習慣病について	小学6年生	67.3%	70.0%	平成33年	市民意識調査	—		—		—		—		70.7	A	
↑				中学3年生	88.6%	90.0%			—		—		—		90.7	A			
			飲酒の適量を知っている市民の割合	↑↑	—	—	50.0%以上	平成33年	市民意識調査	—		—		—		34.3	—		
			週3日以上かつ1日3合以上飲酒している人の割合	↓	全体	3.5%	2.5%	平成33年	国民健康保険連合会	3.1%	B	3.9%	C	3.5%	B	2.7%	B		
				↓	男性	7.6%	6.6%		市民意識調査	—		—		—		—		5.7	A
				↓	女性	2.8%	1.8%		市民意識調査	—		—		—		—		4.2	C
		γ-GTP要指導・要医療者の割合	↓	要指導者	10.3%	8.0%	毎年	国民健康保険連合会	13.2%	C	10.5%	C	9.2%	B	9.7%	B			
			↓	要医療者	3.8%	2.0%			4.9%	C	3.8%	B	3.8%	B	4.5%	C			

基本方針	取り組みの分野	指標	指標の性質	データの対象	ベース値	目標値	評価年度	ベース値(出典)	各年度の実績								
									平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度				
喫煙	妊婦中にたばこを吸っていた人の割合	↓	3~4か月児健診時保護者	4.6%	0%	毎年	健やか親子21アンケート ベースライン平成25年度3.8% 中間評価平成31年度0% 最終評価平成35年度0%	3.7%	B	2.4%	B	1.1%	B	1.9%	B		
		乳児のいる家庭で、父母がたばこを吸っている割合	↓	父	43.5%	30.0%	毎年	健やか親子21アンケート ベースライン平成25年度父親41.5% 母親8.1% 中間評価平成31年度父親30.0% 母親6.0% 最終評価平成35年度父親20.0% 母親4.0%	42.5%	B	36.3%	B	40.9%	B	40.0%	B	
			↓	母	3.4%	2.0%	毎年	健やか親子21アンケート ベースライン平成25年度父親41.5% 母親8.1% 中間評価平成31年度父親30.0% 母親6.0% 最終評価平成35年度父親20.0% 母親4.0%	6.1%	C	4.5%	C	4.4%	C	8.1%	C	
		たばこの害について知っている児童生徒の割合(がん, 心疾患, 歯周病)	小6	→	がん	96.7%	現状維持	平成33年	市民意識調査	—	—	—	—	—	—	91.3	C
				↑	心疾患	66.4%	80.0%			—	—	—	—	—	71.7	B	
				↑	歯周病	43.3%	60.0%			—	—	—	—	—	56.7	B	
				↑	副流煙	89.3%	90.0%			—	—	—	—	—	87.2	C	
				→	赤ちゃんへの影響	93.5%	現状維持			—	—	—	—	—	94.3	A	
		中3	→	がん	97.4%	現状維持	—	—	—	—	—	—	—	—	99.3	A	
			↑	心疾患	80.6%	90.0%	—	—	—	—	—	88.9	B				
	↑		歯周病	77.0%	85.0%	—	—	—	—	—	83.2	B					
	→		副流煙	97.7%	現状維持	—	—	—	—	—	98.1	A					
	→		赤ちゃんへの影響	97.3%	現状維持	—	—	—	—	—	99.1	A					
	禁煙施設の認証数(建物内)	↑	—	81	103	毎年	県ホームページ	123	A	127	A	—	R2.3.31をもって廃止	—	—		
		喫煙率	↓	男性	26.2%	23.0%	平成33年	市民意識調査	—	—	—	—	—	—	19.3	A	
	↓		女性	7.0%	5.0%	平成33年	市民意識調査	—	—	—	—	—	—	7.4	C		
	休養	よく眠れている児童生徒の割合	↑	小学6年生	78.0%	80.0%	平成33年	市民意識調査	—	—	—	—	—	—	84.4	A	
			↑	中学3年生	78.3%	80.0%			—	—	—	—	—	—	76.8	C	
		1日あたり1時間以上ゲームをすると答えた児童生徒の割合	↓	小学6年生	57.5%	53.0%	毎年	全国学力・学習状況調査	57.3%	B	—	—	—	—	—	—	
			↓	中学3年生	62.5%	58.0%			平成28年度【速報値】 県:57.6% 国:55.0%	63.9%	C	—	—	—	—	—	

基本方針	取り組みの分野	指標	指標の性質	データの対象	ベース値	目標値	評価年度	ベース値(出典)		各年度の実績							
										平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	令和2年度	令和 3 年度			
		1日あたり携帯電話やスマートフォンで1時間以上通話やメール、インターネットをすと答えた児童生徒の割合	↓	小学6年生	19.8%	15.0%	毎年	全国学力・学習状況調査	平成 28 年度【速報値】 県:18.5% 国:18.5%	22.4%	C	—	—	—			
			中学3年生	55.0%	50.0%	71.1%				C	—	—	—				
		現在の睡眠に満足している人の割合	↑	市民意識調査	25.9%	30.0%	平成 33 年	市民意識調査		—		—	—	24.9	C		
歯科口腔の健康維持	歯科疾患の予防	妊娠中に歯科健診を受けたことがある産婦の割合	↑	3~4 か月児健診時保護者	—	平成 29 年度実績より10ポイント増	毎年	母子保健統計		43%	C	50%	B	44.7%	C	44.2%	C
		むし歯のない3歳児の割合	↑	3歳5か月児健診受診児	81.2%	85.0%以上	毎年	母子保健統計		85.3%	A	85.9%	A	90.5%	A	88.5%	A
		フッ素塗布を受けたことがある3歳児の割合	↑	3歳5か月児健診受診児	91.0%	93.0%	毎年	母子保健統計		97.7%	A	95.2%	A	95.7%	A	88.1%	D※
		歯科検診においてむし歯のない児童生徒の割合	↑	児童	68.8% (6年生:79.9%)	73.0% (6年:85.0%)	平成 33 年	市教育総務課調査		74.5% (6年生:83.5%)	A	75.4% (6年生:84.7%)	A	75.6% (6年生:84.5%)	A	78.3% (6年生:83.8%)	A
			↑	生徒	78.2% (3年生:77.2%)	80.0% (3年:88.0%)				84.0% (3年生:84.0%)	A	83.5% (3年生:83.2%)	A	84.8% (3年生:83.8%)	A	84.3% (3年生:82.8%)	A
		寝る前に歯をみがく児童生徒の割合	↑	小学6年生	88.8%	95.0%	平成 33 年	市民意識調査		—		—		—		90.8%	B
			↑	中学3年生	85.9%	95.0%				—		—		—		87.8%	B
		昼食後歯をみがく児童生徒の割合	↑	小学6年生	71.8%	80.0%	平成 33 年	市民意識調査		—		—		—		27.0%	C
			↑	中学3年生	17.5%	30.0%				—		—		—		35.2%	A
		定期的に歯科検診を受診した人の割合	→	20~39歳	40.9%	現状維持	平成 33 年	市民意識調査		—		—		—		28.6%	C
			→	40~64歳	37.1%					—		—		—		31.4%	C
			→	65歳以上	46.8%					—		—		—		42.1%	C
		歯周疾患検診の受診率	↑	30歳	8.1%	9.0%	毎年	市歯周疾患検診統計		7.2%	C	8.3%	B	4.1%	C	6.1%	C
			↑	40歳	8.3%	9.0%				7.6%	C	4.8%	C	6.8%	C	7.8%	C
↑	50歳		9.0%	10.0%	8.4%	C				8.1%	C	6.3%	C	9.4%	B		
↑	60歳		11.9%	13.0%	15.1%	A				8.0%	C	10.0%	C	11.3%	C		
↑	70歳		8.1% 平均 9.2%	9.0% 平均 10.0%	12.4%	A				12.4%	A	12.7%	A	11.2%	A		
		歯周病を有する者の割合	↓	歯周疾患検診受診者	40.0%	37.0%	毎年	市歯周疾患検診統計		70.3%	D	85.2%	D	84.7%	D	87.5%	D

基本方針	取り組みの分野	指標	指標の性質	データの対象	ベース値	目標値	評価年度	ベース値(出典)	各年度の実績									
									平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度					
		40歳で損失歯のない者の割合	↑	歯周疾患検診受診者	80.0%	83.0%	毎年	市歯周疾患検診統計	83.8%	A	80.4%	B	82.4%	B	86.1%	A		
	口腔機能の維持の促進	毎日1回は10分くらい歯磨きを行う人の割合(ほぼ実践している人の割合)	↑	20～39歳	21.4%	23.5%	平成33年	市民意識調査	—		—		—		—		28.3%	A
↑			40～64歳	26.7%	29.4%	—				—		—		—		32.2%	A	
↑			65歳以上	51.8%	現状維持	—				—		—		—		47.0%	C	
		デンタルフロスや歯間ブラシを使用している人の割合(ほぼ実践している人の割合)	↑	20～39歳	15.5%	17.1%	平成33年	市民意識調査	—		—		—		—		23.8%	A
↑			40～64歳	28.7%	31.6%	—				—		—		—		31.1%	B	
→			65歳以上	41.6%	現状維持	—				—		—		—		40.1%	C	
		60～64歳で24本以上自分の歯を持つ人の割合	↓	市民意識調査	50.0%	60.0%	平成33年	市民意識調査	—		—		—		—		55.4%	B

龍ヶ崎市第3次健康増進・食育計画骨子（案）

【現計画】	【改定内容】	【新計画】
<p>第1章 計画の策定にあたって</p> <p>1 策定の趣旨</p> <p>2 本計画の特徴</p> <p>3 計画の期間</p> <p>第2章 龍ヶ崎市の健康をとりまく現状と課題</p> <p>1 概況</p> <p>(1) 人口構成</p> <p>(2) 人口の推移と将来推計</p> <p>(3) 年齢3区分別人口の推移</p> <p>(4) 出生・死亡・転入・転出の推移</p> <p>(5) 出生数と出生率・低出生体重児出生数と低出生体重児出生率</p> <p>(6) 平均寿命と健康寿命</p> <p>(7) 死亡</p> <p>2 介護保険の状況</p> <p>3 国民健康保険医療状況</p> <p>(1) 年齢内訳と医療状況</p> <p>(2) 疾病別医療費分析</p> <p>4 健康診査の受診状況</p> <p>(1) 3～4か月児健康診査</p> <p>(2) 1歳6か月児健康診査</p> <p>(3) 2歳6か月児歯科健康診査</p> <p>(4) 3歳5か月児健康診査</p> <p>(5) 特定健康診査の受診状況</p> <p>(6) 特定健康診査有所見者状況</p> <p>(7) メタボリックシンドローム予備群・該当者推移</p> <p>5 がん検診</p> <p>(1) 部位別がん死亡数及び死亡率の推移</p> <p>(2) 各がん検診受診状況</p> <p>6 前計画の評価について</p> <p>進捗状況評価シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妊産婦期 ・ 乳幼児期 0歳～5歳 ・ 学童・思春期 6歳～19歳 ・ 青年期 20歳～39歳 ・ 壮年期 40歳～59歳 ・ 高齢移行期 60歳～64歳 ・ 高齢期 65歳以上 <p>7 本市の現状と課題</p>	<p>6. 前計画の評価</p> <p>(1) 評価方法</p> <p>ライフステージ区分評価から分野別基本方針評価に変更</p> <p>(2) 実績一覧</p> <p>関連する目標値の進捗状況が一覧で見れるよう一覧表を追加</p> <p>(3) 分野別基本方針と取り組み評価</p>	<p>第1章 計画の策定にあたって</p> <p>1 策定の趣旨</p> <p>2 本計画の特徴</p> <p>3 計画の期間</p> <p>第2章 龍ヶ崎市の健康をとりまく現状と課題</p> <p>1 概況</p> <p>(1) 人口構成</p> <p>(2) 人口の推移と将来推計</p> <p>(3) 年齢3区分別人口の推移</p> <p>(4) 出生・死亡・転入・転出の推移</p> <p>(5) 出生数と出生率・低出生体重児出生数と低出生体重児出生率</p> <p>(6) 平均寿命と健康寿命</p> <p>(7) 死亡</p> <p>2 介護保険の状況</p> <p>3 国民健康保険医療状況</p> <p>(1) 年齢内訳と医療状況</p> <p>(2) 疾病別医療費分析</p> <p>4 健康診査の受診状況</p> <p>(1) 3～4か月児健康診査</p> <p>(2) 1歳6か月児健康診査</p> <p>(3) 2歳6か月児歯科健康診査</p> <p>(4) 3歳5か月児健康診査</p> <p>(5) 特定健康診査の受診状況</p> <p>(6) 特定健康診査有所見者状況</p> <p>(7) メタボリックシンドローム予備群・該当者推移</p> <p>5 がん検診</p> <p>(1) 部位別がん死亡数及び死亡率の推移</p> <p>(2) 各がん検診受診状況</p> <p>6 前計画の評価</p> <p>(1) <u>評価方法</u></p> <p>(2) <u>実績一覧</u></p> <p>(3) <u>分野別基本方針と取り組み評価</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本方針1 生活習慣病の発症予防と重症化予防 <ul style="list-style-type: none"> ① 健康管理 ② 循環器疾患 ③ 糖尿病 ④ がん ・ 基本方針2 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上 <ul style="list-style-type: none"> ① こころの健康 ② 高齢者の健康 ・ 基本方針3 健康を支え守るための社会環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ① 健康づくり支援 ・ 基本方針4 生活習慣及び社会環境の改善 <ul style="list-style-type: none"> ① 栄養・食生活 ② 身体活動・運動 ③ 飲酒 ④ 喫煙 ⑤ 休養 ・ 基本方針5 歯科口腔の健康維持 <ul style="list-style-type: none"> ① 歯科疾患の予防 ② 口腔機能の維持の促進 <p>7 本市の現状と課題</p>

<p>第3章 全体目標及び具体的取り組みの方向性</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 計画の目標 2 計画のめざすべき方向性 3 計画の体系 4 ライフステージ別の取り組み <p>第4章 分野別基本方針と取り組み</p> <p>基本方針1 生活習慣病の発症予防と重症化予防</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 健康管理 (2) 循環器疾患 (3) 糖尿病 (4) がん <p>基本方針2 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) こころの健康 (2) 高齢者の健康 <p>基本方針3 健康を支え守るための社会環境の整備</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 健康づくり支援 <p>基本方針4 生活習慣及び社会環境の改善</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 栄養・食生活 (2) 身体活動・運動 (3) 飲酒 (4) 喫煙 (5) 休養 <p>基本方針5 歯科口腔の健康維持</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 歯科疾患の予防 (2) 口腔機能の維持の促進 <p>第5章 計画の推進と評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 推進体制 <ol style="list-style-type: none"> (1) 推進体制の方法 (2) 情報発信及び情報共有 (3) 計画の点検・評価・見直し 2 PDCAサイクルに基づく進行管理 <p>資料</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 用語解説 <p>健康づくり推進協議会名簿</p>	<p>第4章 分野別基本方針と取り組み</p> <p>基本方針1 に高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施における重症化予防に関する方向性を明記</p> <p>基本方針4 を健康の維持向上のための生活習慣の改善と環境づくりに変更</p> <p>資料</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 指標項目及び目標値一覧 <p>・関連する目標値が一覧で見られるよう一覧表を追加</p>	<p>第3章 全体目標及び具体的取り組みの方向性</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 計画の目標 2 計画のめざすべき方向性 3 計画の体系 4 ライフステージ別の取り組み <p>第4章 分野別基本方針と取り組み</p> <p>基本方針1 生活習慣病の発症予防と重症化予防 <u>(高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施における重症化予防)</u></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 健康管理 (2) 循環器疾患 (3) 糖尿病 (4) がん <p>基本方針2 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) こころの健康 (2) 高齢者の健康 <p>基本方針3 健康を支え守るための社会環境の整備</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 健康づくり支援 <p>基本方針4 <u>健康の維持向上のための生活習慣の改善と環境づくり</u></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 栄養・食生活 (2) 身体活動・運動 (3) 飲酒 (4) 喫煙 (5) 休養 <p>基本方針5 歯科口腔の健康維持</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 歯科疾患の予防 (2) 口腔機能の維持の促進 <p>第5章 計画の推進と評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 推進体制 <ol style="list-style-type: none"> (1) 推進体制の方法 (2) 情報発信及び情報共有 (3) 計画の点検・評価・見直し 2 PDCAサイクルに基づく進行管理 <p>資料</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 指標項目及び目標値一覧 2 用語解説 <p>健康づくり推進協議会名簿</p>
--	--	---

龍ヶ崎市第2次健康増進・食育計画 目標値一覧の評価区分の変更について

【変更理由】

今までは、第2次健康増進・食育計画策定時の評価区分で事業評価を行ってきましたが、CとDの違いが分かりづらく、担当者によって評価が分かれる事が多くみられていました。第3次計画においては、国の計画である健康日本21の評価指標も参考に、Cを悪化、Dを大きく悪化（概ね半減や倍増）とし、区別しやすいように変更する予定です。

(旧)

評価区分
A 目標値に達した
B 目標値に達していないが改善傾向にある
C 目標達成は難しい（評価が難しい）
D 見直しが必要



(新)

評価区分
A 目標値に達した
B 目標値に達していないが改善傾向にある
C 悪化している
D 見直しが必要（評価が難しい）

なお、新型コロナの影響により判定が困難なものを、「D※」と記載している

本市の現状と課題

●健康管理について

- ・乳児家庭訪問率、3～4か月児健康診査受診率が減少しています。
 - ・特定健康診査受診率がベース値よりも増えてはいるものの、目標値と大きくかいらしています。
- ◎受診率向上のために、医師会との連携を図りながら、健診を受けやすい環境づくりを進めるなど、改善に向けた取り組みが必要です。

●循環器・糖尿病について

- ・メタボリックシンドローム該当者の割合が増加しています。
 - ・I度高血圧以上(140/90mg)の人の割合が増加しています。
 - ・26週頃の妊婦健康診査の血糖値100mg/dl以上の割合が増加しています。
 - ・糖尿病性腎症により新規に透析を導入される人数が増加しています。
- ◎将来的に合併症を引き起こしやすいメタボリックシンドロームや高血圧、糖尿病の有病者を減らすためにも、他関係機関と連携を図りながら乳幼児期・学童期も含めた若い年代からの生活習慣の改善を促すとともに、重症化予防への取り組みが必要です。

●がんについて

- ・各がん検診受診率が減少しています。また、男性よりも女性の受診率が低い傾向が見られます。
- ◎受診率向上のために、効果的な受診勧奨や休日検診の実施など検診環境の改善に努めていく必要があります。

●高齢者の健康について

- ・いきいきヘルス体操教室の延べ参加者数が減少しています。
- ◎介護予防教室の参加者数は、横ばい又はやや減少傾向となっています。新規参加者を増やしていくために、会場設定の見直し等による参加機会の拡大、目的に合わせた回数設定、講座内容の検討などが必要です。

●栄養・食生活について

- ・児童、生徒の肥満者の割合が増加しています。
- ・20～60歳代男性の肥満が増加しており、20歳代女性はやせの割合が増加しています。
- ・65歳～74歳のBMI20以下の割合が増えています。
- ・主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上している人の割合が減少しています。
- ・朝食を欠食する児童・生徒の割合が増えています。
- ・朝食を欠食する20歳代の割合が男女とも増えています。
- ・26週頃の妊婦健康診査において貧血を指摘される者が増えています。

◎やせや肥満は、将来の生活習慣病を引き起こす原因とされています。また、食べすぎや欠食等の食生活の乱れは健全な生活活動の妨げにもなります。学校や医療機関などと連携を図りながら、望ましい食習慣を身につけられるよう、啓発を行っていく必要があります。

●身体活動・運動について

- ・学校の授業以外にスポーツや趣味などで60分以上身体を動かす割合（週2回以上）が小学生で減少しています。
 - ・体力テストの結果において県平均を上回った種目数が児童・生徒ともに0種目です。
 - ・体力テストで総合評価AまたはBの児童生徒の割合が男児において低下しています。
 - ・日常生活における歩数、7000歩以上歩いている者の割合が減少しています。
 - ・運動習慣者の割合が男性で減少しています。
- ◎児童、生徒については、学校と連携を図りながら、体力向上に向けた取り組みを行っていく必要があります。
- ◎成人、特に男性において運動習慣者の割合が減少していることから、市民が運動しやすい環境づくりを行うとともに、日ごろの生活の中で身体活動を増やすための工夫等についての普及啓発に努めていく必要があります。

●飲酒について

- ・週3日以上かつ3合以上飲酒している人の割合が女性で増えています。
- ◎過度な飲酒は様々な健康被害を引き起こすため、引き続き、飲酒に対する正しい知識の普及啓発をしていく必要があります。

●喫煙について

- ・乳児のいる家庭で、母親がたばこを吸っている割合が増えています。
 - ・喫煙率が男性では減少し目標値を達成しましたが、女性では増えています。
- ◎喫煙はがんや生活習慣病を引き起こす危険因子であり、禁煙で予防することができます。喫煙が身体に及ぼす影響等の知識の普及啓発に努めていく必要があります。

●休養について

- ・中学3年生でよく眠れている割合がやや減少しています。
 - ・現在の睡眠に満足している人の割合がやや減少しています。
- ◎睡眠による休養を十分に取り入れることにより、生活の質の向上にもつながるため、学校と連携を図りながら、休養の必要性について知識の普及啓発に努めていく必要があります。

●歯科疾患予防について

- ・妊娠中に歯科検診を受けたことがある妊婦の割合が減少しています。

- ・定期的に歯科検診を受診した者の割合が20歳以上の全ての年齢で減少しています。
- ・歯周疾患検診の受診率が30・40・50・60歳で減少しています。
- ・歯周病を有する者の割合が増えています。

◎むし歯や歯周病が重症化しないためにも、定期的な歯科健診は必要であるため、健診を受けやすい環境づくりとともに、必要性について普及啓発していく必要があります。

龍ヶ崎市第3次健康増進・食育計画策定にむけた今後のスケジュール（案）

令和3年度

令和4年度

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
推 健 進 康 協 づ 議 く 会 り	★健康づくり推進協議会 11月5日開催 ・計画骨子（案） ・計画の進め方 ・市民意識調査報告 (指標値)			★健康づくり推進協議会 2月開催予定 ・市民意識調査報告 ・令和3年度事業実施状況報告 など				★健康づくり推進協議会 6～7月中に複数回 ・第3次健康増進・食育計画（案）の審議 ・令和3年度事業実績報告 など ・第3次健康増進・食育計画（案）の 諮問、答申									
				●庁議			●他課との調整				●庁議	●パブリックコメント 10月					

○令和5年1月頃を目途に次期計画を公表

○令和5年度から次期計画の基本的事項について取り組みを開始